

2021（令和3）年度 施設評価について

＜施設の自己評価＞

2021年度末に行った職員の自己評価を基に、えじり保育園として、施設の自己評価を集計・考察しました。

（2021年度を振り返って）

○通常の保育の中で

◎2021年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に注意しながらの保育となりました。ただ、昨年度とは違い、まったく何もできないのではなく、どこまでだったかできるのか、ひとつ一つ丁寧に考えながら、できる範囲で、できる限りのことを工夫して行うことができた一年だったと思います。

○行事について

◎新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらとなりましたが、少しずつ保護者の方に参加していただく行事を再開しました。再開にあたり、

- ・参加される保護者の方に、参加日前1週間の健康観察と検温を行ってもらう
- ・健康観察と検温結果を事前健康観察票に記入し、当日提出いただく

上記2点を参加される保護者へお願いし、保護者参加の行事を行いました。

◎乳児クラス誕生日会／幼児クラス保育参加会を行うことができたため、実際の子どもの様子を、保護者の方へ一年ぶりに見ていただくことができました。また、私たち保育者も、直接保護者の方とお話することができ、直接会って行えるコミュニケーションの重要性に改めて気付くことができました。ただ、クリスマス会については、5歳児クラス（だいちぐみ）のみの開催となり、昨年度と同様に、クリスマス会までの園の様子や、クリスマス会を楽しむ子どもたちの様子を保護者の皆さまに見ていただけるよう、各クラス、動画配信を行いました。ただ、動画撮影における課題（乳児クラスは、普段の様子を撮影できるが、幼児クラスは、クラスの子どもたち全員が映ることを考えると、動画撮影がなかなか難しい、など）が出てきたため、動画撮影については、来年度も検討していきたいと考えています。

○その他、来年度へ向けて

◎コロナ禍の中で、動画配信等、新たな方法にもチャレンジしてきたため、改めて、「保育を伝える」ことについて、なぜこの形式で伝えるのか／伝えたいのか、ということを考えていきたいです。（文字・写真・動画・映像など）

＜保護者アンケートを通して＞

2021年度、乳児クラス誕生日会、幼児クラス保育参加に参加していただいた保護者の方からのアンケートをまとめたものとなります。（コロナ禍のため、感染状況により残念ながら参加できなかったご家庭もあります）

（えじり保育園の保育について）

- ・子どもたちそれぞれが、好きな遊びを見つけて、生き生きと楽しむ姿が見られて良かったです。
- ・皆自由に遊んでいるのびのびしていて良いと感じました。園の過ごしかたの流れもルーチン化されているので、子どもたちも次やる事をしっかり自分達でできていたのには感心しました。
- ・お外で遊ぶときに、いろいろな年齢の子どもたちと遊べるのは子どもにとってとてもうれしく、刺激的だなと思いました。

- ・下の子のお世話を上のお姉さんお兄さんが嬉しそうにしていたのがとても印象的でした。自然とできる環境、すてきなと思いました。
- ・外遊びで「だるまさんがころんだ」を男の子（5歳児）3人でやっていたら、女の子（5歳児）が2人増え、そらぐみ（4歳児）さんからも数名増え…と、学年関係なく、仲良く遊べることに感動しました。小さい子のお世話もしっかりできて成長しているんだなあと感じました。
- ・保育室が広すぎて、かみつみや机の上に登ってしまうなどの対応が大変そうでした。

- ◎園庭で過ごすときは、子どもたちはクラスの枠を越えて遊ぶ姿が見られます。そうした日々を過ごすうちに、自然と異年齢での関わりも生まれてきています。
- ◎特に乳児クラスの子どものかみつきについては、日頃から、保育者の室内での配置や環境構成、子どもたちとの関わりについて話し合い、保育を行っていますが、残念ながらすべて止めることはできません。今後も、環境構成や子どもたちとの関わりを考え、実践していくとともに、保護者の皆さまへも、乳児（特に1歳児）の子どもたちのかみつきについて、その理由や状況を丁寧にご説明していきます。

（給食について）

- 食材の大きさ、味付けを実際にみれた（食べれた）ので、お家でも参考にして作りたいです。先生たちの食べさせ方が、すごい勉強になりました。
 - メニューの名前だけでは気づかないたくさんの食材が入っていて、おいしいだけでなく栄養面もとても安心できます。
 - そんなに濃い味付けではないのに、だしなどで旨みが出ていて、とてもおいしかったです。汁に入っていたじゃがいもも、形はきれいに残っているのにとっても柔らかくて、子どもたちも食べやすいと思います。
 - いろどりが良く、とても美味しい給食をありがとうございました。自宅よりも、トマトやキュウリ、お肉の切り方が大きめでしたが、このぐらいでも良いのだと、子どもたちの食べる様子を見て気づくことができました。
 - 家ではスムーズにご飯を食べることがなく、野菜も自ら食べ進めることのない我が子が、ガーッと野菜を食べ、ぐずることなく食べ終わってとても感動しました。「このサラダ（春雨サラダ）おいしいからさー、おうちでも作れば」と言われ（笑）、帰りに給食の先生にレシピを教えてくださいました！バランスの良い献立に毎日感謝です。ありがとうございます。
 - 子どもには食べにくそうなメニューだと感じましたが、頑張って食べていました。
- ◎「レシピを教えてください！」という多くのご要望もありましたので、給食サンプルの展示ケースに、人気メニューのレシピをお持ち帰りできるように、今後も準備していきたいと思います。ぜひ、ご活用ください。
 - ◎献立は静岡市の基準献立を利用し、メニューによっては、子どもたちの食べやすいメニューへ変更して提供していますが、子どもたちが食べにくいメニューとなることもあります。そのため、月に1回、給食会議として、保育者、調理師、主任、園長と、子どもたちの給食の様子について話し合う機会をもち、食べにくそうなメニューは、調理方法や献立を変更するなど、次月の献立作成へ生かしています。

☆在園のすべての保護者の方のご意見・ご感想を紹介することはできませんが、このアンケート結果を通して、えじり保育園の保育にご興味を持たれた方は、施設見学も随時受け付けておりますので、お気軽にお問合せ下さい。